

東海国立大学機構 岐阜大学における経営改革促進事業の概要

岐阜大学の経営改革

～強靱なガバナンスと安定した財源確保～

- 戦略的・機動的に執行するガバナンス体制の整備
- 外部資金等の獲得による財源の多様化を踏まえたトータルバジェットによる資源配分
- 「地域の中核大学の産学融合拠点の整備」事業を推進
- 地域ステークホルダーとの対話
- 地域企業との共同実験施設・スタートアップの活動拠点・新たなオープンイノベーションを創出する産学共創拠点化の推進

本事業によりもたらされる成果

【構造面】

- ✓ 大学・産業界・地域発展の好循環モデル（TOKAI-PRACTISS）の加速
- ✓ 世界を担う若手研究者の集積

【財政面】

- ✓ 財政基盤の強化
- ✓ 外部資金収入割合の引き上げ（令和13年度 目標値：29.6%）

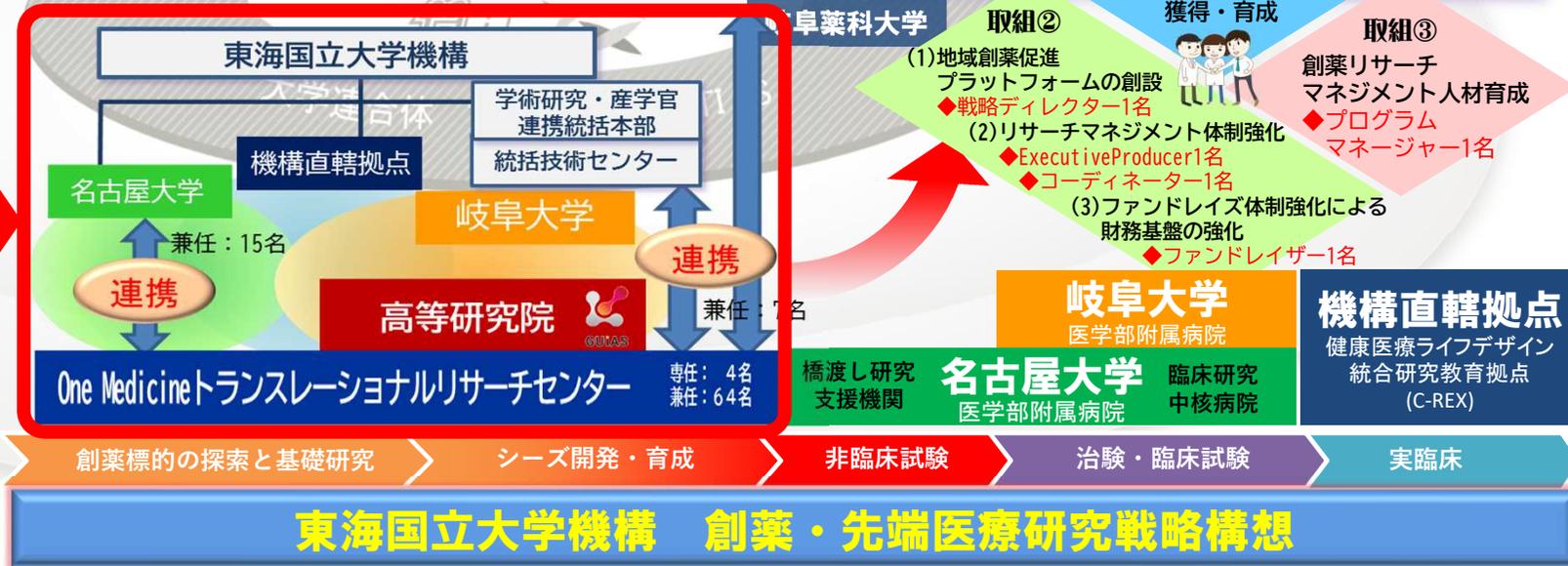
【研究面】

- ✓ 東海国立大学機構の研究力を強化し、創業・医療機器開発を一貫通貫で強力に推進
- ✓ わが国の創業・先端医療研究の先導

岐阜大学研究基本戦略（抜粋）

◆ 強み・特色ある研究ならびに将来性のある研究を戦略的に発展させる。

⇒ 生命科学分野では糖鎖科学・医獣薬連携による次世代生命科学を推進する。



One Medicine トランスレーショナルリサーチセンター設置によるライフサイエンス分野の研究力強化、外部資金収入増による財政基盤の強化、大学・産業界・地域発展の好循環モデルの加速